

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 24-008

PDCA	事務事業名	公園管理事業	部課等名	建設部 都市計画課 公園 緑地担当	担当 内線等	澤山 448	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節： 第3節 うるおい空間の形成					
		基本施策： 1. 公園・緑化・親水空間					
		単位施策： (1) 公園・緑地の整備					
根拠法令等	都市計画法						
対象・目的	既設公園・緑地等の適正な管理を行うことで、利用者の安全を確保する。						
目的を達成するための手段・活動内容	専門的な知識や技術力を要する樹木剪定や遊具保守点検については専門業者へ委託し、規模の大きな公園においては半田市シルバー人材センターへ委託することで手厚い管理を行う。また、市民協働の観点から草刈りやゴミ拾い・トイレ清掃を地元自治区へも委託し、さらにきめ細かな維持管理に努める。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①公園管理委託による樹木剪定・草刈り	119	119	119	箇所	
		②遊具保守点検委託による遊具点検	94	94	94	箇所	
		事業費	121,927	130,160	131,209	千円	
		人件費	8,259	8,249	6,871	千円	
		総事業費	130,186	138,409	138,080	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①公園面積1㎡当りの管理及び整備コスト(遊具点検・園内清)	149	144	144	千円		
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①管理瑕疵に伴う事故件数	実績値	0	0	0	件
			目標値	0	0	0	
			実績値				
			目標値				
		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		遊具保守点検等の結果を踏まえた計画的な改修等により、突然の使用停止や緊急修繕を未然に防ぎ、公園内での事故もなく、利用者の安全を確保することができた。また、職員による定期パトロールを実施することで、危険個所の早期発見や樹木剪定について迅速な対応をすることができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持				
		今後も公園利用者が安全かつ快適に使用できるよう、職員や樹木管理委託業者による定期パトロールを実施し、適切な公園の管理に努めていく。					
令和元年度の目標		成果指標	目標値	単位			
		①管理瑕疵に伴う事故件数	0	件			